

## 射水市地域公共交通網形成計画について

### 1 計画の目的

射水市では、コミュニティバス及びデマンドタクシーが市全域を網羅して運行しており、市民の通勤・通学の足として、また、高齢者等移動制約者の移動手段として日常的に利用されています。

これまで、平成25年9月に策定した「射水市公共交通プラン」に基づき、利用者のニーズや要望に即した路線の見直しをほぼ毎年実施してきました。

この間、公共交通の利便性の向上と利用促進の声が一層高まりました。また、コミュニティバスにおいては、運行負担金が年々増加傾向にあることや利用者の少ない路線があること、また、新たな地域でのデマンドタクシー導入の要望も出てきていることなどの課題も出てきています。

このため、本市における公共交通の現状と課題を踏まえ、持続可能な公共交通網を実現するため、公共交通施策のマスタープランとなる射水市地域公共交通網形成計画を策定するものです。

### 2 計画の構成（案）

「計画の概要」、「射水市の地域及び公共交通の現状・課題」、「基本的な方針（まちの姿と目指す公共交通の将来像）」、「基本目標（公共交通ネットワーク形成の考え方）」、「具体施策」、「施策の進め方と計画の評価」

### 3 検討課題（案）

(1) コミュニティバス路線の見直し	
区 分	内 容
1 運行の効率化	
①重複路線の解消	コミュニティバス路線の中には民間路線バスと競合している路線や同一区間を複数路線が運行するものがある。
②長大（循環）路線の解消	市民の要望に基づいて、多くの地域をカバーした結果、地区によっては、目的地まで時間がかかる場合がある。⑬小杉地区循環線（21.1km 60分） ※（ ）内の値は起終点間のキロ呈及び運行時間である。
③拠点施設を結ぶ循環線の導入	日常の移動の利便性を向上させる市内を巡るための移動手段として、主要施設をつなぐ循環路線の運行を望む声がある。
	乗り継ぎせずに目的地へ行くことを望む声が多い。
	バスの運行ルートについて見直しや廃止に関する意見がある。
④便数、運行時間、運行日の検討	利用者が少ない便がある。コミュニティバスは年々運行経費が増加している。
	富山県立大学が平成31年度から朝の時間帯に小杉駅南口発着のシャトルバスを運行している。
	国立富山高等専門学校では、保護者会が通学バスを運行している。
	⑯中央幹線は、小杉駅と新湊地区センター間で競合する民間路線バスがある。
	バスの運行本数の増減に関しての意見がある。
2 乗継ぎの利便性の向上	あいの風とやま鉄道は、パターンダイヤで運行していないことから、一部の便でコミュニティバスのスムーズな乗り継ぎができない。
	バスと他交通機関との接続の改善についての意見がある。
3 自由乗降区間の導入	自由乗降区間導入の要望がある。

(2) 鉄道駅からの観光地への誘導	
区 分	内 容
1 小杉駅とベイエリアの観光地を結ぶ観光路線の構築	小杉駅と海王丸パーク及びベイエリアを結ぶ路線がない。
2 新高岡駅とベイエリアを結ぶ二次交通路線の構築	新高岡駅から海王丸パーク及びベイエリアを結ぶ路線がない。
3 万葉線各駅とベイエリアへの利便性向上	万葉線の各駅からベイエリア周辺を巡る公共交通手段がない。
(3) 地域特性に応じた公共交通の検討	
区 分	内 容
1 新たな地区でのデマンドタクシーの導入	他の地域からもドア・ツー・ドアという利便性があるデマンドタクシー導入の要望が上がっている。
	デマンドタクシーの運行区域・本数・予約方法の改善についての意見がある。
2 住民等主体の地域交通の導入	コミュニティバス路線の中には、日中の時間帯利用者が少ない路線もある。
3 予約式バスの導入	
(4) 交通結節点での待合環境の整備	
区 分	内 容
1 小杉駅南口における待合環境の整備	あいの風とやま鉄道小杉駅南口には、小杉駅南口待合所があるもののバス停付近には雨風をしのげる待合設備がない。
(5) 公共交通の利用促進方策の検討	
区 分	内 容
1 あいの風とやま鉄道	あいの風とやま鉄道の小杉駅や越中大門駅にバス乗り場や行先案内表示がない。
	小杉駅の橋上駅舎化の要望がある。
	越中大門駅にエレベーターの設置要望がある。
	小杉駅北口に観光案内所の設置要望がある。
	運行本数・ダイヤの改善についての意見がある。
	新駅整備を希望する意見がある。
2 万葉線	海外から市内へ万葉線を利用した観光客が増えている。
	運行本数・ダイヤの改善についての意見がある。
	新線・新駅整備についての意見がある。
3 民間路線バス	民間路線バスの利用者が少ない。
	バスの運行本数の増減についての意見がある。
4 商店と連携した企画切符の発行	コミュニティバスの利用者が少ない。
5 公共交通マップの作成	射水市には万葉線、民間路線バス、コミュニティバスを網羅的に表示された公共交通マップがない。別の公共交通機関を乗り継いでいく際にどのような公共交通機関を利用すればよいのかわからない。
	バスのわかりやすさにつながる情報提供の改善についての意見がある。
6 コミュニティバスでの公共交通系ICカード導入の検討	キャッシュレスでの乗車による乗換え時の負担の軽減を図る。
7 高齢者向けサービス	高齢者のさらなる公共交通機関利用促進。
8 バス停掲示用の時刻表のわかりやすい表示方法への改善	コミュニティバスバス停掲示用の時刻表は、路線毎に全てのバス停の時刻表示をしているが、わかりづらいとの声がある。
	バスのわかりやすさにつながる情報提供の改善についての意見がある。

## 4 スケジュール（案）

年 度	年	月	内 容
平成30年度	平成31年 (2019年)	2	第2回協議会開催（アンケート調査結果及び課題等の整理について）
平成31年度		8	第3回協議会開催（地域公共交通網形成計画（素案）について）
		11	第4回協議会開催（地域公共交通網形成計画（案）について）
	平成32年 (2020年)	1	パブリックコメント実施
	2	第5回協議会開催（パブリックコメントの反映について）	
	3	地域公共交通網形成計画公表	
平成32年度～			コミュニティバス路線再編の検討、モデル事業の実施と検証